

9月9日は救急の日

大切な人の命を守るために

救急蘇生法に関する研究は世界中で続けられ、常に進歩しています。新しい研究成果で、「有効」と考えられる蘇生手順(ガイドライン)は定期的に改正されています。

大切な人や家族の命を守るため、救命に関する手技と知識を学びましょう。



富士山南東消防本部 裾野消防署
☎995-0119

新しいガイドライン 2015 に 対応した救命講習に変更されました

ガイドラインが更新されました。これまでに比べ、手技の内容が明確化し、胸骨圧迫の重要性がさらに高まりました。救命講習の内容も新しいガイドライン 2015 に対応した内容に変更しました。

胸骨圧迫の変更点 (成人の場合)

- 胸骨圧迫の深さは約 5 cm
 - 1 分間に 100 回～120 回のテンポ
 - 胸をしっかりと元の位置に戻す
 - 胸骨圧迫の中断時間を最小限 (10 秒以内) に
 - 正常な呼吸が判断に迷ったらすぐ胸骨圧迫
- ※ 処置・判断に迷ったときは 119 番通報し、オペレーターの指示を仰いでください。

救命講習の参加者を募集しています

AED (自動体外式除細動器) を使った心肺蘇生法の習得をします。費用は無料です。

時 9月26日(月) 9時～12時

所 裾野消防署 3階災害対策室

対 中学生以上の方

定 30人 (先着順)

申 裾野消防署・茶畑分遣所・須山分遣所にある申込書
必要事項を記入し、提出してください。

他 11月19日(土)、平成29年1月23日(月)、3月11日(土)にも開催します。



胸骨圧迫訓練システム 「しんのすけくん」が寄贈されました

6月23日、市内に事業所がある住友理工株式会社から胸骨圧迫訓練評価システム「しんのすけくん」が裾野消防署に寄贈されました。

「しんのすけくん」は、心肺蘇生法の訓練をサポートするシステムで圧迫位置・圧迫の深さ・リズムなどを検知し、項目ごとに点数化することで訓練を客観的に評価することができる製品です。各項目はリアルタイムで画面表示され、改善点が視覚的に確認でき、胸骨圧迫の質の向上が期待されます。

消防職員の日々の訓練や、市民の方の講習などで「しんのすけくん」を活用し、救命率の向上を目指します。

